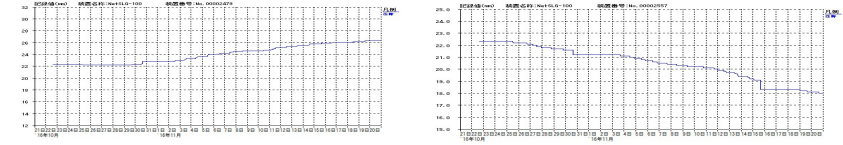
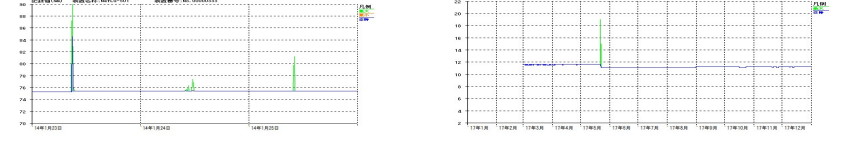
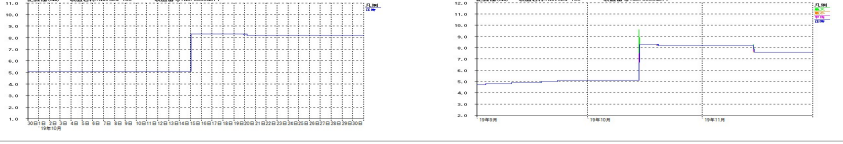
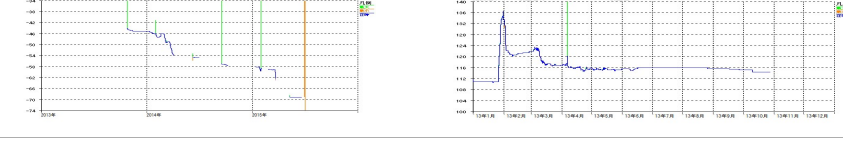
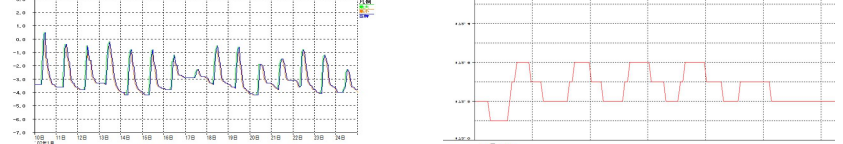
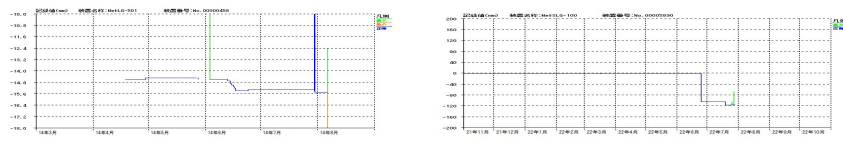


伸縮計の観測値のパターン分類

株式会社 オサシ・テクノス 顧客サービス部

パターン分類		時系列グラフィメージ	原因
①	正常		
②	引っ掛け		・保護管内に小動物の巣が作られていた ・作業中の人が仕掛けを触った ・動物等が装置に接触した可能性(仕掛けのぐらつき)
③	倒木		・塩ビ管のジョイントが外れていた ・倒木が仕掛けに引っ掛かっていた
④	虫		・蜘蛛の巣 ・回路パターンの腐食断線(状況から蟻酸)
⑤	温度特性 (日変動)		・アスファルトに設置してアスファルトの膨張でクラックが開き、夜間落ち着くという動きに追従していた。後にアスファルトクラック部分から崩壊した。 ・保護管と収納箱の間に鳥よけの金網を取り付けていて金網の収縮を計測していた。金網と収納箱を留めている部分の縁を切ったら直った。 ・コンクリートの観測・塩ビ保護管と収納箱の接触・仕掛けを補強している単管の接触等も同様の傾向。
⑥	結露		[水分の影響で漏電など回路の意図せぬところに電気が流れて不安定なデータとなる(あらゆるデータパターンがある。機器の損傷につながる場合が多い)] ・ボックス内結露 ・工場での再現なし ・電池ボックスに水濡れ ・消費電力アップ
⑦	雷サージ		・突然データが跳ね上がる。 (機器の損傷につながる場合が多い) ・基板に焦げ (左グラフは、回路パターンに錆・結露による欠測と誘導雷によるアブゾーバ破損がほぼ同時発生での複合型だった)